



「全力でプレー」力強く

選拔出場光星ナイン 壮行式で決意

第88回選抜高校野球大会(20日開幕・甲子園)に出場する八学光星ナインの壮行式が9日、八戸市の同校体育館で行われた。ベンチ入りする選手18人が全校生徒の前で「全力でプレーする」など力を込め、全国の強豪と戦う決意を新たに示した。

奥村幸太主将は「一戦一戦全力で戦い、最後の最後まで青森県の皆さんに感動を与えられるプレーをしたい」と強調。仲井宗基監督は「3年連続で選ばれた誇りを持ち、正々堂々と戦いたい。2月に亡くなられた中村キヤ先生に(本人作詞の)校歌を届けられるように頑張りたい」と述べた。

生徒会副会長の川口詩音さん(2年)が「青森、さらには東北の代表として出場する誇りと責任を持って、一日でも多く素晴らしいゲームを。『光星旋風』が吹き荒れることを期待します」と激励した。

9日はこのほか、全農青森県本部の徳佐裕一郎営農対策部長らが同校を訪問。ナインに県産米「青天の霹靂」やナガイモ、ニンニクなどの農畜産物や加工品を寄贈した。

選手は10日に八戸を出発し、関西入り。現地の高校と練習試合を組みながら調整し、大会に備える。組み合わせ抽選会は11日。

(一戸康成)